

「マクロ経済スライド廃止」「補聴器購入助成制度」を求める請願書 不採択

市民の切実な願いに反対

公明党・凜風会

全日本年金者組合甲賀支部、甲賀市生活と健康を守る会の代表らが、「マクロ経済スライド廃止の意見書を求める請願書」と「補聴器購入助成制度を求める請願書」を提出されましたが、25日の本会議最終日の採決では、賛成少数で不採択となりました。特に、厚生文教常任委員会の審査では、昨年9月議会で「補聴器は高額、購入費用の助成をしてはどうか」と一般質問をした公明党の堀議員が反対討論をしたのに驚きでした。請願書の「消費税の増税」という

部分に賛成できないという理由でしたが、堀議員は、子どもの医療費助成拡充を求める請願の時も、一般質問で助成を求めていながら請願には反対の態度でした。また新年度予算要望で、高齢者施策の充実を掲げていた凜風会も反対。一貫性のない態度に議員としてのあり方が問われます。本会議では岡田議員が賛成討論、凜風会の山中善治議員が反対討論を行いました。賛成は、日本共産党の3議員と竹若議員のみでした。

「補聴器購入助成制度を求める請願書」 骨子

急激な高齢化社会の中で、加齢性難聴に悩む人が増えています。難聴は家族や友人とのコミュニケーションがとりにくくなり、引きこもりや認知症の誘因となることも指摘されています。国会や地方自治体において前向きな答弁がされ、助成制度を実施している自治体も現れています。補聴器は15万円から30万円以上と高価ですが、現在の公的補助は障害者手帳を持つ重度の難聴者に限られています。しかし、難聴に悩むのは軽度・中度の人が圧倒的に多く、早期に補聴器を使用すれば重度化を防ぐことができます。

ほとんどの高齢者の生活は、止めどもない年金の削減に加え、消費税の増税、各種保険料や医療費の値上げなどで大変厳しくなっています。

貴議会においてこうした実情に配慮いただき、意見書の採択を切にお願いいたします。

甲賀市の3月定例議会が閉会后、26日に甲賀広域行政組合議会と公立甲賀病院組合議会がそれぞれ開催されました。議会では新年度予算などの審議が行われ、その後一般質問が行われました。山岡光広議員は甲賀広域行政組合議会、小西喜代次議員は公立甲賀病院組合議会、下記のような質問を行いました。

公立甲賀病院組合議会

小西喜代次議員が一般質問



公立甲賀病院組合議会の定例会議が26日に開かれ、提案された4議案すべてが全員賛成で可決。小西喜代次議員、4議案すべてに質疑を行いました。この中で4年間の計画を定めた「中期計画」の変更理由の質疑では、化学療法件数など3件で事務的ミスが発見されたため、目標数値を訂正したとのことで、今後の改善策を指摘しました。一般質問は小西喜代次議員と湖南市の立入善治議員が行いました。

①地方独立行政法人化後の1年間の評価と課題については、9月議会で報告すること。

②中期計画の到達と小児救急などの分野や甲賀保健医療圏の中核病院としての役割、休床病棟の早期再開に向けての看護師の確保、経営基盤の安定化のための収支計画、及び資金計画などでの課題を質しました。

③病院職員の働きかた改革と健康管理への管理者の関り。

④昨年の3月定例議会に続き無料低額診療事業の早期実施を求めました。

甲賀広域行政組合議会

山岡光広議員が一般質問



甲賀広域行政組合議会が26日開かれ、新年度予算案や契約などが全員賛成で可決しました。一般質問では、山岡光広議員が①新型コロナウイルス等救急隊における感染予防対策、②沖縄の首里城火災を教訓に管内の重要文化財の防火対策、無住の社寺の防火対策について、③119番通報多言語サービスについて、質問しました。

①は、横浜で救急隊員が患者を搬送していた新型コロナに感染したことを受けて、防護服の整備や感染予防のマニュアルと訓練ができているかを質しました。

②は、管内の重要文化財の社寺を特別査察した結果とともに、重文だけでなく貴重な仏像などが保存されている社寺の防火対策について両市担当とも連携して対応するよう求めました。

③は、甲賀・湖南両市とも外国人が多く在住するため、事故や病気などで外国人が搬送されるケースあり、その時のために「119番多言語通訳サービス」が新年度から実施されることの詳細について聞きました。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2020年 4月 5日 第303号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
TEL 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696